（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Relieve

公表日　R8年　3月　23日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100		子どもの色によってスペースの必要性が変わってくる	特色に合わせた環境の設定が必要だと考えられ
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		100	配置数としては足りているが日によって支援する対象が違うので必要な人数は違う、より良い支援をするには人員が足りぐるしい時もある	引き続き求人募集
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100		環境整備を毎日実施、体を動かす活動では活動スペースへ移動、作業時は机に向かうなどした環境を提供している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100		つい立などで仕切ることはできるが音を一切遮断することは難しい	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		毎年度実施、大きな活動（夏休みやお祭り）後にはアンケートの実施を行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		管理者会議・個別相談等を実施	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100	第三者委員への介入なし	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100		事業所内に毎月研修を実施	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100		ホームページ、玄関への掲示を実施	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100		言葉での表出がないので保護者向けニーズが直出てしまう傾向はある	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100		共通認識をしていると思う	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100		紙媒体での共有も行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100		アセスメントシートを作成している 毎年度保護者との確認を行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100		役割分担をしながら支援を行うことが出来ている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		療育チームで立案し全スタッフに共有	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100		季節の取り組みや個別支援計画に沿うような内容にしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100		児、一人一人にあわせた計画の作成を行い活動に繋げている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100		パート職員も朝礼に参加できるよう時間の変更を行い実施、その日の終わりには退勤時間のばらつきが多く振り返りたい点については翌日の朝礼で行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。		100	カルテに記載、何かあればすぐに業務連絡ツールにて共有	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100		整えてはいるが連携とまではいかない	今後要検討
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100		学校参加は学校主催のみとなり、その会議も保護者の希望がないと行われない為難しい面もある	介入していく取り組みが必要（放デイ部会にて意見あり）
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100			
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	100		必要に応じてリハビリの内容などを聴く事がある	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50	50	併設の事業所との交流はある。 保育園等は感染症が流行し中々難しい面もある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		共通理解は保護者により変わってくる	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100		あいサポートファイルの作成の呼びかけ 協力医の研修実施	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100		契約時に説明を行っている 毎年は行っていない	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100		モニタリングの実施	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100		夏祭りの開催、研修の実施	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100		必要に応じて病院や相談員に相談している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100		本年度よりインスタグラムも追加	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100	毎年の課題	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100		今年度発声した地震状況をふまえ現在見直し中	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100		安全計画の周知を今後行っていく予定	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100			